

学院児童指導員科（発達障害支援者養成）研修受入要領

学院児童指導員科（発達障害支援者養成）において、研修生として受講を希望する者は、次により申込みをしてください。

- 1、受講資格 医療、教育、福祉分野において、現に、発達障害支援に携わっており、かつ、所属長からの推薦がある者
- 2、定員 6名
- 3、研修期間 2019/9/1～2020/3/31
※うち 10/1～2/28 までを必修期間とする
- 4、申込期間 ・2019年1月1日～2月28日（第1期）
・2019年4月1日～5月31日（第2期）
・2019年6月1日～7月31日（第3期）
※定員になり次第、終了
- 5、提出先 郵送（書留）または持参により提出してください。（当日消印有効）
〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 事務室
- 6、提出書類等 ①受講申込書
②履歴書
③健康診断書
④研修計画書
⑤勤務証明書
⑥推薦書（所属長）
- 7、選考方法 研修計画書に基づいた面接
- 8、選考料 なし
- 9、研修費 実費負担（教材費として5万円程度）
- 10、問い合わせ先 〒359-8555
埼玉県所沢市並木 4-1
国立障害者リハビリテーションセンター
学院 事務室
電話：04-2995-3100（内線 2610、2619）

児童指導員科中期研修カリキュラム

科目分類	履修科目	担当講義	講師名	履修時間			
				講義	演習	実習等	合計
発達障害福祉論	社会福祉行政論	児童福祉 障害福祉	児童福祉専門官（厚生労働省） 田中 正博（日本発達障害連盟）	4 4			8
	医学概論		江藤 文夫（国立障害者リハビリテーションセンター）	4			4
	リハビリテーション概論	リハビリテーションとQOL	森 浩一（国立障害者リハビリテーションセンター）	2			12
		ICF概論 行動障害	深津 玲子（国立障害者リハビリテーションセンター） 小石 誠二（山梨県立精神保健福祉センター）	2 8			
	生命倫理学	出生診断、生殖補助医療 自己決定権、インフォームド・コンセント	岡田 英己子（学院外部講師）	8			16
			横山 貴美子（学院外部講師）	8			
	発達障害医学		本田 秀夫（信州大学）	16			16
	発達障害福祉史	世界史 日本史	岡田 英己子（学院外部講師）	12			24
			関 剛規（国立障害者リハビリテーションセンター）	12			
	看護概論		櫻井 初子（訪問看護ステーション てのひら）	16			16
	乳幼児保健論		中嶋 彩（ネストやまなし）	16			16
	重症心身障害論		櫻井 初子（訪問看護ステーション てのひら）	8			8
	知的障害者福祉論		関 剛規（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16
	発達障害者福祉論		加藤 潔（国立障害者リハビリテーションセンター）	4			16
林 克也（国立障害者リハビリテーションセンター） 与那城 郁子（国立障害者リハビリテーションセンター）			8 4				
精神障害者保健福祉論		荒田 智史（FLATSヒルサイドクリニック）	16			16	
発達障害支援論	ソーシャルワーク理論		齋藤 信哉（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16
	児童発達支援論		田ヶ谷 雅夫（ぶどうの里）	8			16
			五味 洋一（群馬大学）	8			
	生涯発達論		川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16
	家族支援		白馬 智美（横浜市総合リハビリテーションセンター）	8			16
			長嶺 麻香（横浜市総合リハビリテーションセンター）	8			
	就労支援		藤巻 鉄士（練馬区立大泉障害者地域生活支援センター）	16			16
	強度行動障害		関 剛規（国立障害者リハビリテーションセンター）	16			16
	性と支援		山本 良典（東京都心身障害者福祉センター）	16			16
	虐待		工藤 宏子（東京都立小児総合医療センター）	16			16
触法・非行		小林 隆裕（国立のぞみの園）	12			16	
		有賀 道生（横浜市東部地域療育センター）	4				
発達障害演習	研究方法		川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）		16		16
	支援技法	概論 TEACCH 感覚刺激と感覚運動 行動障害 障害スポーツと余暇	関 剛規（国立障害者リハビリテーションセンター）		4		44
			諏訪 利明（川崎医療福祉大学）		16		
			杉本 拓哉（国立障害者リハビリテーションセンター）		8		
			高橋 潔（弘済学園）		8		
			野村 一路（日本体育大学）		8		
	個別支援計画		関 剛規（国立障害者リハビリテーションセンター）		20		20
	コミュニケーション支援		倉井 成子（学院外部講師）		12		20
			田中 里実（国立障害者リハビリテーションセンター）		8		
	スーパービジョン		川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）		20		20
カウンセリング		金子 絵里乃（日本大学）		20		20	
面接技法		渡邊 和美（警察庁科学警察研究所）		8		8	
		和智 妙子（警察庁科学警察研究所）		8			
アセスメント	ABA Vineland II	川淵 竜也（国立障害者リハビリテーションセンター）		8 12		20	
多職種連携	自立支援協議会 発達障害 医療、教育、福祉の連携 地域連携	福岡 寿（学院外部講師）		4		20	
		松上 利男（北摂杉の子会）		4			
		西牧 謙吾（国立障害者リハビリテーションセンター）		4			
		竹谷 志保子（うめだ・あけぼの学園）		8			
事例研究	施設	安田 知明（ありのまま舎）			8	40	
	地域	山口 玲子（きらきら星）			8		
	学校	佐々木 仁子（埼玉YMCA）			8		
	児童	中村 みゆき（ライフ・ステージ・サポート みえ）			8		
	幼児	田村 満子（江東区子ども発達センター）			8		
実 習	療育実習／職場モニタリング実習※	児童指導員科教官			94	94	
特別講義	研修会	研修会講師（国立障害者リハビリテーションセンター）			160	166	
	法学Ⅱ	障害児専門官（厚生労働省）	2				
	法学Ⅲ	知的障害専門官（厚生労働省）	2				
	法学Ⅳ	発達障害専門官（厚生労働省）	2				
特別研究	（事例研究/文献・調査研究）	児童指導員科教官			40	40	
合 計				318	188	334	840

※A. 療育実習

- ・ インテーク面接、実習前面接、療育5回（10月～12月の土曜日半日）、ケースカンファレンス1回
- ・ 病院での診察、発達検査、面談などへの同席（11月中旬予定）

B. 職場モニタリング実習

- ・ 研修成果活用のための職場アセスメントやプランニング
- ・ 3月実施(研修のまとめと4月に向けた準備)